

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====

【ソフト名】 SST G1 Lite2 アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Lite2 日本語版
【登録名】 SST G1 Lite2 Ver.3.1.1
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版/ 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

<Ver.3.1.1> 2018.9

本バージョンアップによる変更内容

- 1) アップデート前に必ずお読みください
- 2) 機能追加
- 3) 機能修正
- 4) アップデート手順
- 5) ドングル更新手順

1) アップデート前に必ずお読みください

■アップデート時に出るメッセージについて

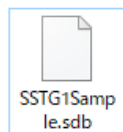
本バージョンにアップデートする際は、すでにインストールされている SSTG1Lite2 をいったんアンインストールする手順が実行されます。

アップデート (setup.exe) を実行すると「**SSTG1 Lite2がインストールされています。アンインストールを開始してよろしいですか？**」とメッセージが出ますので、[はい]を選択し、アンインストールを開始してください。そのまま手順通り進めると、アップデートが完了します。

なお、ここでアンインストールを実行しても、お客様が設定されたユーザー設定・フォーマット情報・ショートカットキー設定などが消えることはありません。

詳細な手順は 4) アップデート手順 をご覧ください。

 アップデート後に sdb ファイルのアイコンが白くなってしまう場合



アップデート後、sdb ファイルのアイコンが白くなってしまった場合は、下記の方法でプログラムの関連付けを行ってください。

【方法 1】

白いアイコンをダブルクリックすると、「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

【方法 2】

方法 1 でプログラムの選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は、白いアイコンの sdb ファイルを右クリック→プロパティを開いてください。

① [全般] タブの「プログラム」の [変更] をクリック

② 「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

③ ② にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「その他のアプリ」をクリックしてください。「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択してください。

④ ③ にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「この PC で別のアプリを探す」をクリックしてください。

⑤ C ドライブ配下の [Program Files (x86)] – [CANVASs SSTG1 Series] フォルダを開きます。

⑥ 「SSTG1Unified.exe」を選択し [開く] をクリックしてください。

■ ドングル更新について ※Ver1.1.1 をご利用のユーザー様のみご覧ください

本項目は、**Ver1.1.1 をご利用のユーザー様向け**となります。Ver1.1.2 以上をご利用中のユーザー様はドングル更新は不要です。

ご利用バージョンは [ヘルプ] – [バージョン情報] よりご確認ください。

「SSTG1 Dub」の発売に伴いセキュリティ設定を再構築したため、本バージョンをご利用いただくには「必ず」ドングル更新が必要となります。

ドングル更新をせずに新バージョンを利用した場合、編集機能等主たる機能がご利用できなくなるほか、その他、不具合が発生する可能性がございます。

Ver1.1.1からアップデートされる方は、まずは **5) ドングル更新手順** にてドングル更新をお申し込みください。

ドングル更新後は Ver1.1.1 で編集作業ができなくなりますので、必ずすべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を新バージョンにアップデートして下さい。

お手数をお掛け致しますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2) 機能追加

●ユーザー設定

多くの方よりご要望いただいております、ユーザー設定を保存して使い分ける機能が実装されました。ユーザー設定をリストに保存し、好きなタイミングで設定を切り替えられるようになりました。

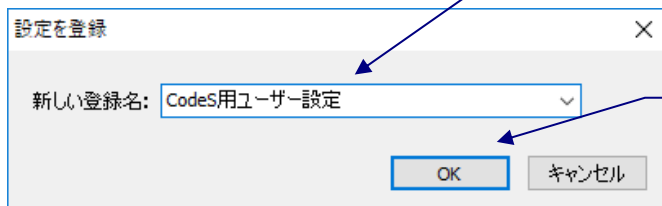
○新規登録・上書き登録

[設定]－[ユーザー設定]を開きます。

The screenshot shows the 'ユーザー設定' (User Settings) dialog box. It has tabs for 'ガイドライン', '画面表示', '詳細', '色', 'メンテナンス', '言語', and '再生'. The '画面表示' (Screen Display) tab is selected. The '字幕' (Subtitles) section includes settings for '文字数(秒):' (4.00), '文字数(行)(横):' (12.0), and '文字数(行)(縦):' (12.0), along with checkboxes for 'ルビも文字数に含む', '半角を0.5でカウントする', and 'スペースをカウントしない'. The 'タイムコード' (Time Code) section has '字幕表示時間' (Warning: 01:00, Forced: 00:15) and '字幕の間隔' (Warning: 00:10, Forced: 00:03). The '数値による選択方法' (Selection method by numerical value) section has radio buttons for '字幕番号' (selected) and 'インデックス'. The 'ダッシュとして指定する文字列' (Dash string to specify) section has four input fields. The '字幕付与範囲' (Subtitle assignment range) section has a dropdown for '映像の末尾以降に字幕を付与できる時間' (0 (時間)). At the bottom, there is a '言語タブ変更' (Language tab change) dropdown, a 'リスト操作' (List operation) button, and a '現在の設定をリストに追加' (Add current settings to list) button. The 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用' (Apply) buttons are at the bottom right.

1. 設定を変更します。

2. [現在の設定をリストに追加]をクリックします。



3. 登録名を入力します。既存のリストに上書きしたい場合は、プルダウンから上書きしたいリスト名を選択します。

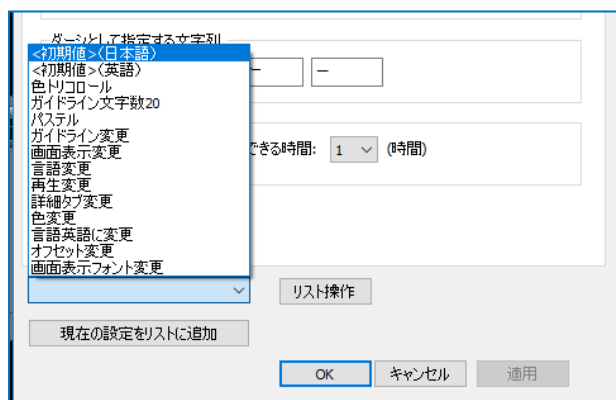
4. [OK]をクリックします。

※ユーザー設定は sdb ファイルには保存されません。どの sdb ファイルを開いても同じユーザー設定が適用されます。

※[メンテナンス]タブはリストに保存されません。

○リストから設定

ユーザー設定画面左下のプルダウンをクリックし、変更したいリスト名を選択して[適用]または[OK]をクリックします。



※「<初期値>(日本語)」と「<初期値>(英語)」は変更・削除ができません。

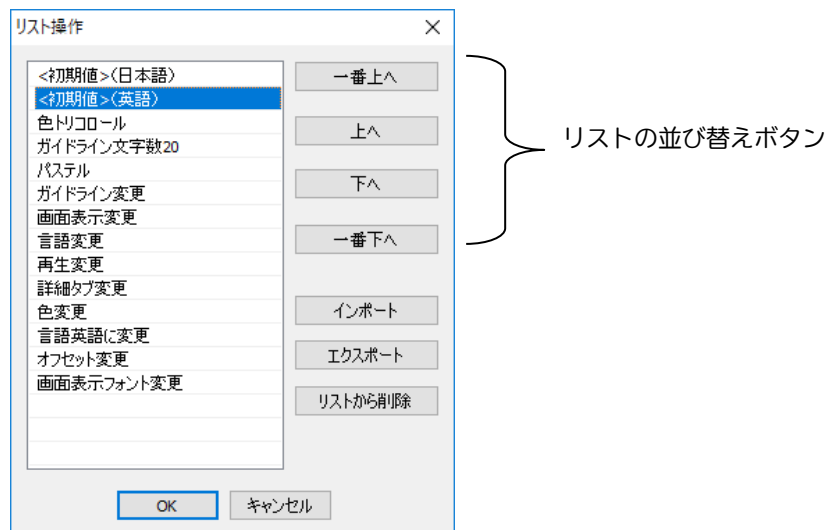
<初期値>(日本語)：従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

<初期値>(英語)：[言語]タブが「英語」に設定されます。それ以外は従来の[デフォルトに戻す]ボタンを押した際の設定値です。

※メンテナンスタブはリストに保存されないため、変更する場合はユーザー設定画面から手動で変更してください。

○リスト操作

ユーザー設定画面から[リスト操作]をクリックします。



[インポート]： ユーザー設定のファイルをインポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。

[エクスポート]： 選択しているユーザー設定をファイルにエクスポートします。[メンテナンス]タブは対象外です。

[リストから削除]： 選択しているユーザー設定をリストから削除します。<初期値>(<initial setting>)は削除できません。

映像の末尾より後の位置でのスポットティング、in 点/out 点の調整、字幕移動等ができるようになりました。

これまでのバージョンでは映像の末尾より後の位置を波形上に表示することができないため、スポットティング、波形上での in 点/out 点の調整、字幕移動等ができませんでしたが、本バージョンでは[ユーザー設定]-[ガイドライン]タブの「字幕付与範囲」で「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定すると、映像ファイルが終了した後も設定時間分はこれらの操作ができるようになりました。

なお、タイムコードをインジケータに直接入力しての in 点/out 点の調整、字幕の文字編集、表示位置/行配置の変更などはこれまでのバージョンでも映像範囲外での操作が可能です。

ユーザー設定

ガイドライン 画面表示 詳細 色 メンテナンス 言語 再生

字幕

文字数(秒): 4.00 ☐ ルビも文字数に含む

文字数(行)(横): 16.0 ☐ 半角を0.5でカウントする

文字数(行)(縦): 16.0 ☐ スペースをカウントしない

☐ 半角を0.5でカウントする

☐ スペースをカウントしない

☐ 組文字は1文字としてカウントする

タイムコード

字幕表示時間: 警告 01:00 強制 00:15

字幕の間隔: 警告 00:10 強制 00:00

数値による選択方法

☒ 字幕番号 ☐ インデックス

ダッシュとして指定する文字列

-- -- -- --

字幕付与範囲

映像の末尾以降に字幕を付与できる時間: 1 (時間)

インポート エクスポート

デフォルトに戻す OK キャンセル 適用

[例]

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を1時間に設定した場合

映像ファイル

sdb ファイル



映像ファイル

1 時間

sdb ファイル

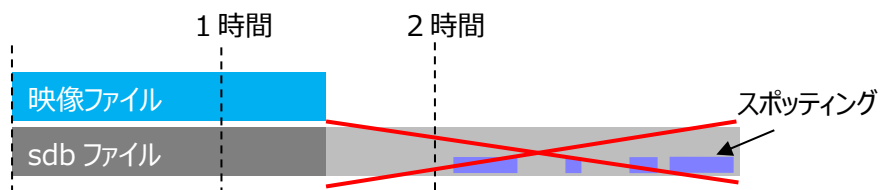
映像ファイルの末尾から1時間分、スポットティング等ができるようになります

[例] すべてのスポットティング（注 1）が映像の範囲外（映像の末尾以降）に存在している場合

（注 1）「スポットティング」とは、ここでは波形ウィンドウ上に表示される右図の青色部分を指します。

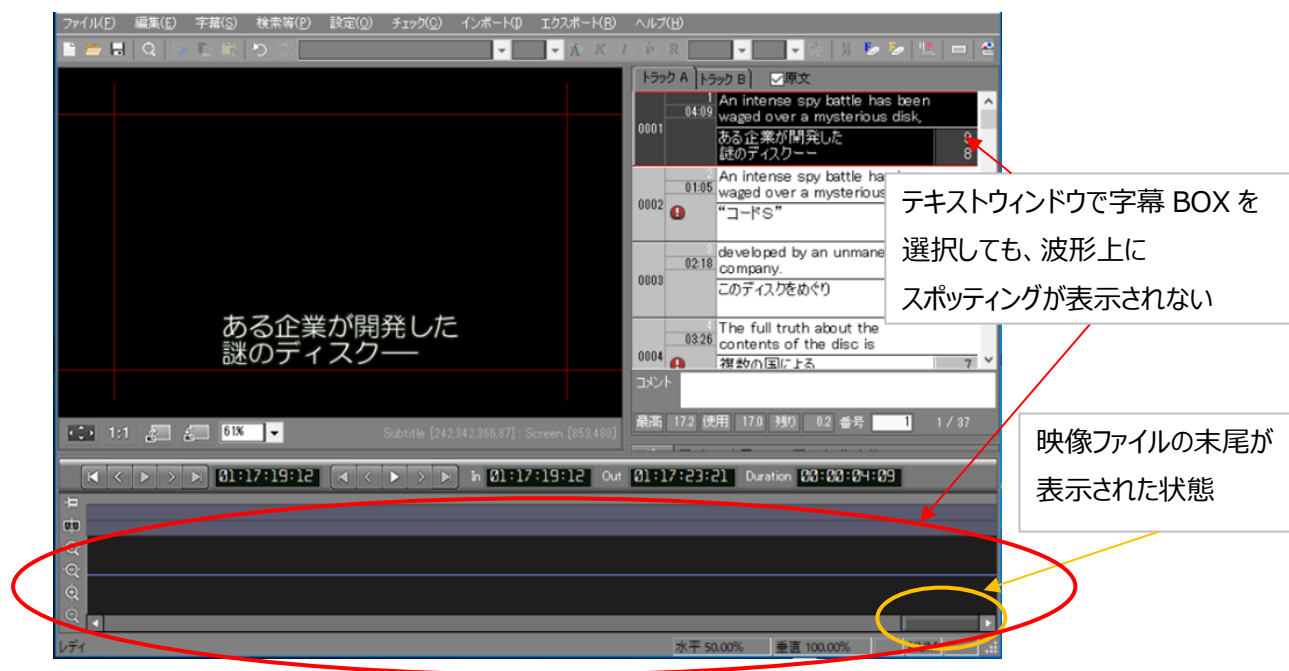


○ これまでのバージョン

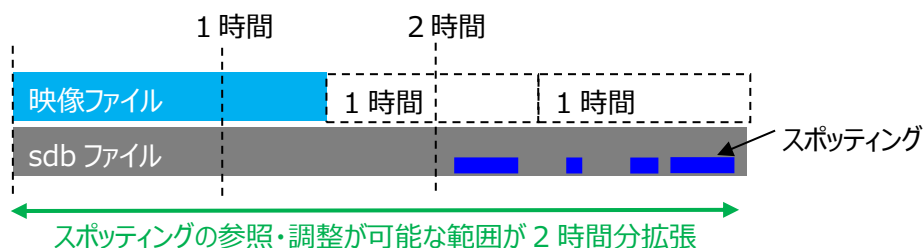


映像の範囲外は波形上でのスポットティングの参照・調整等ができない

テキストウィンドウで先頭の字幕 BOX を選択した状態

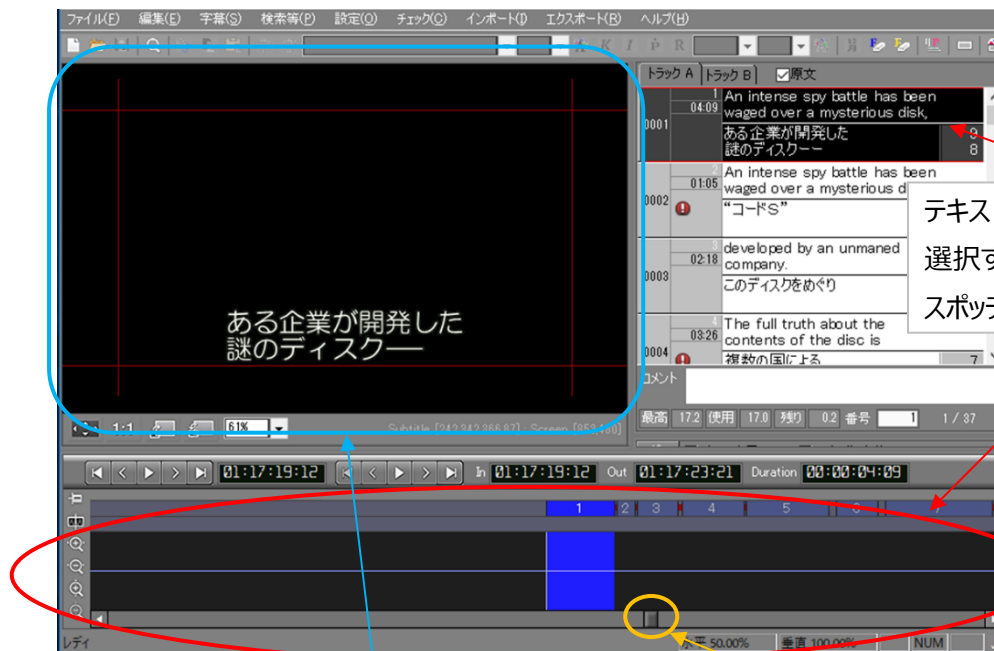


○ 本バージョンで「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を 2 時間に設定





「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を
2 時間に設定



テキストウィンドウで字幕 BOX を
選択すると、波形上に
スポッティングが表示される

現在位置が映像の範囲外のため
映像は画面上に表示されない（新再生モードの場合）

※ SSTG1 モードの場合は映像の最終フレームの画が表示され続けます

sdb ファイルの編集可能範囲が
広がったため、現在位置が波形
全体の中ほどになっている

※「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」は 0～9 時間の幅が設定できます。

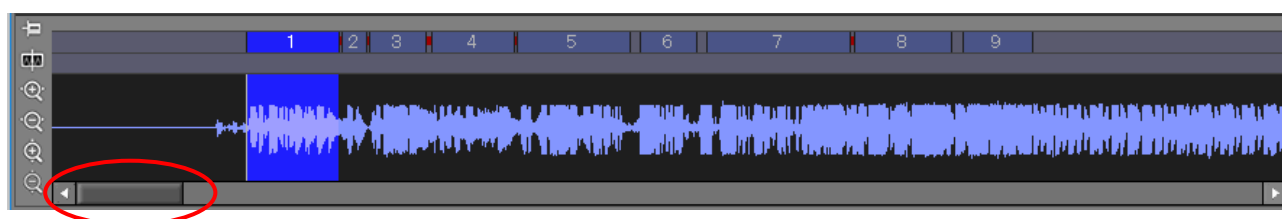
※この設定を変更した場合は SSTG1 Lite2 の再起動が必要です。

※映像がない位置では再生キーによるプレビューはできません。PageUp/PageDown キーなどによる字幕表示のみ可能です。

※付与できる時間の数値を大きくすればするほど、波形下のスクロールバーの範囲が広がります。

例えば「9」と設定すると、スクロールバーで移動できる範囲が「映像の長さプラス 9 時間分」となります。これにより、スクロールバーでのコントロールがしづらく感じられる可能性がありますのでご注意ください。

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」が「0」時間の状態（初期設定）

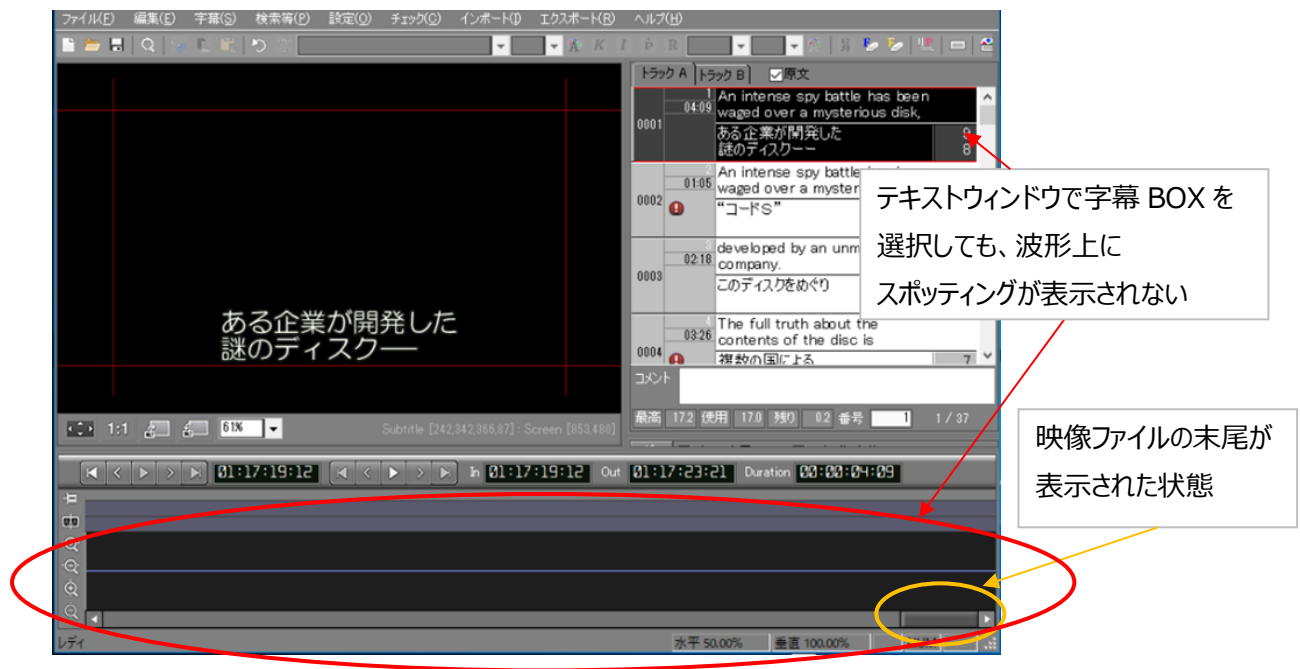


「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を「9」時間に変更



スクロールバーで移動できる範囲が「映像の長さプラス 9 時間分」となり、その分スクロールバー（つまみ）が短くなります

○ 当該 sdb ファイルを本機能未搭載の SSTG1 シリーズで開いた場合



本バージョンで映像の範囲外のスポッティングを調整した sdb ファイルを本機能未搭載の SSTG1 シリーズで開いても、映像の範囲外に存在するスポッティングはこれまでと同じく参照・調整ができません。また、タイムコードをインジケータに直接入力しての in 点/out 点の調整、字幕の文字編集、表示位置/行配置の変更など、これまでも映像範囲外での操作が可能であった機能については、今後も引き続き操作することができます。

【本機能未搭載の SSTG1 シリーズ】

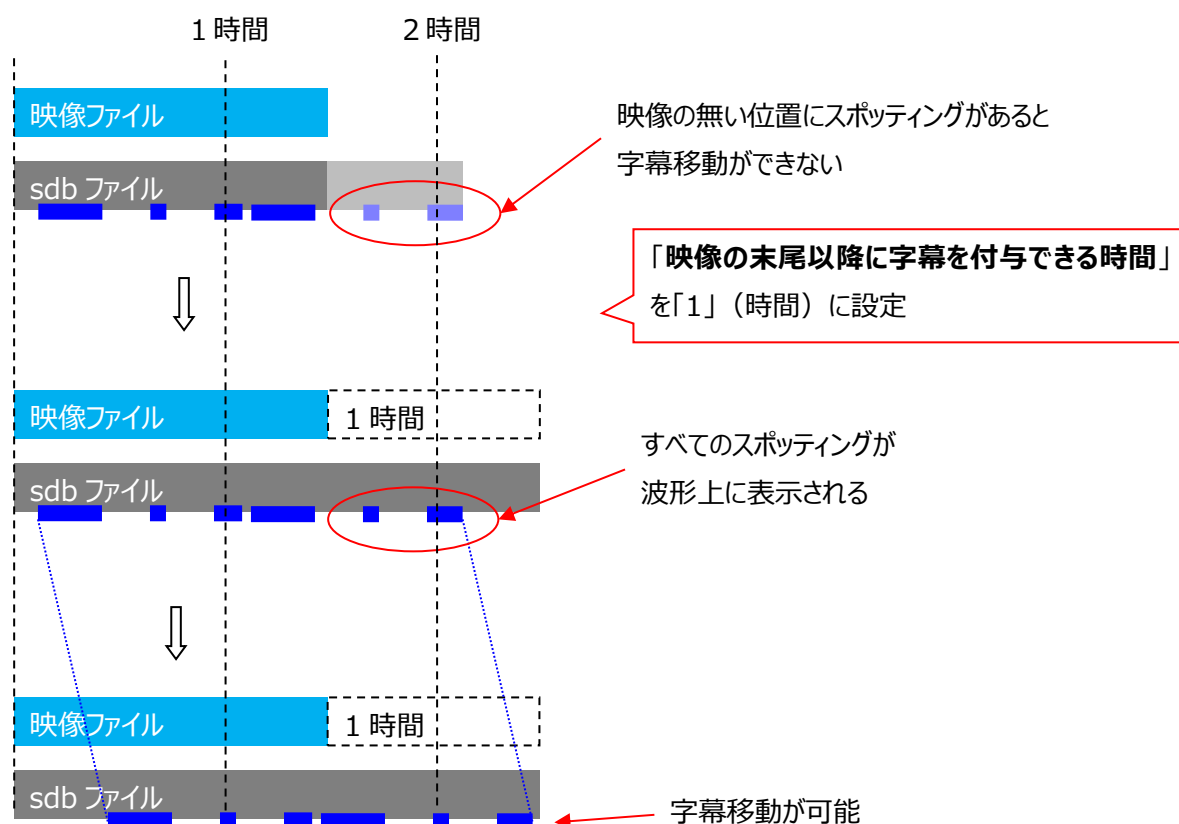
- ・ SSTG1
- ・ SSTG1 Lite
- ・ SSTG1 Lite2 Ver1.1.3 以下
- ・ SSTG1 Pro Ver. 1.1.35 以下
- ・ NetSSTG1 Ver. 2.1.20 以下

●字幕移動

—sdb ファイルより映像ファイルが短い場合でも字幕移動ができるようになりました。

Sdb ファイルより映像ファイルが短い場合に字幕移動を行うと、これまでは「映像の無い位置への移動はできません」等のエラーが出て移動ができませんでした。前述の新機能「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定して sdb ファイルの編集可能範囲を広げることにより、映像の無い位置のスポッティングを含む字幕移動ができるようになりました。

※本機能を使用する場合は「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」の設定を変更し、sdb ファイルに存在するスポッティングがすべて波形上に表示される状態にして下さい。



【字幕移動時の字幕間隔（強制）に関する注意点】

「字幕移動」で選択できる4つの移動方法のうち、下記の3つはユーザー設定で指定している「字幕の間隔（強制）」は考慮せず移動する仕様となっています。このため、字幕移動の結果「字幕の間隔（強制）」の設定値よりも字幕間隔が狭くなる場合がありますのでご注意ください。

字幕移動の結果、「字幕の間隔（強制）」の設定値よりも字幕間隔が狭くなっている箇所を調べるにはユーザー設定の「字幕の間隔（警告）」を強制と同じ値に設定した上で「最終チェック」の「字幕間隔の警告」のチェックを行って下さい。

「字幕の間隔（強制）」が考慮されない移動方法

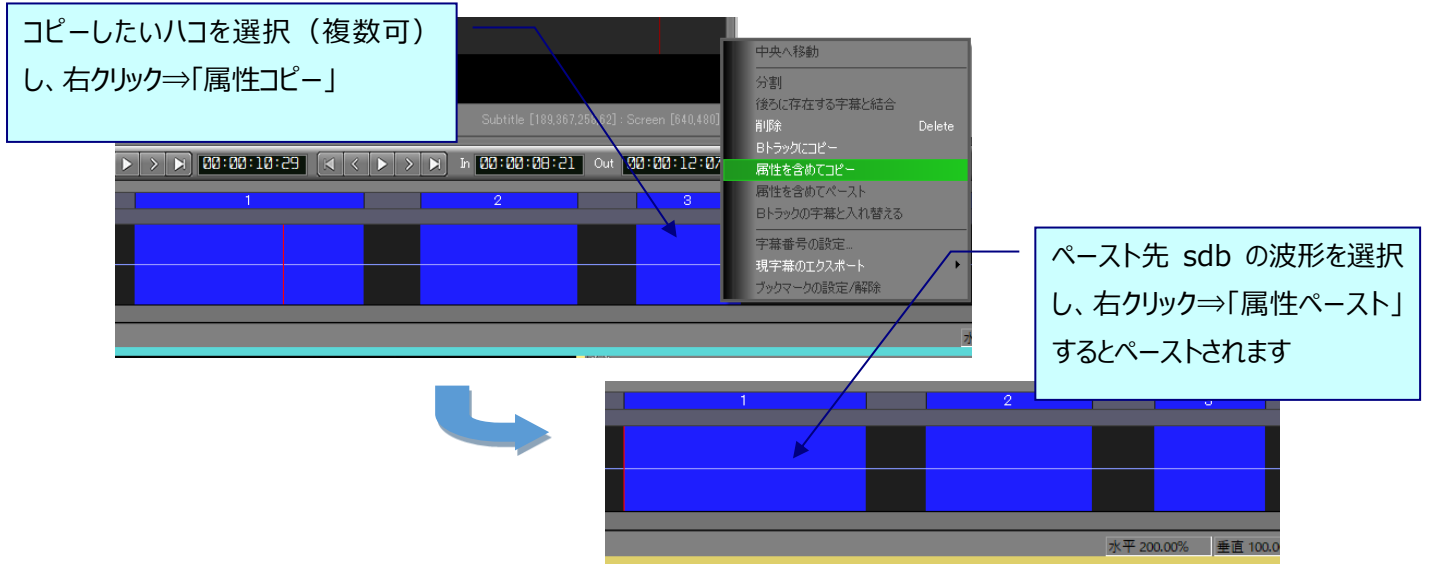
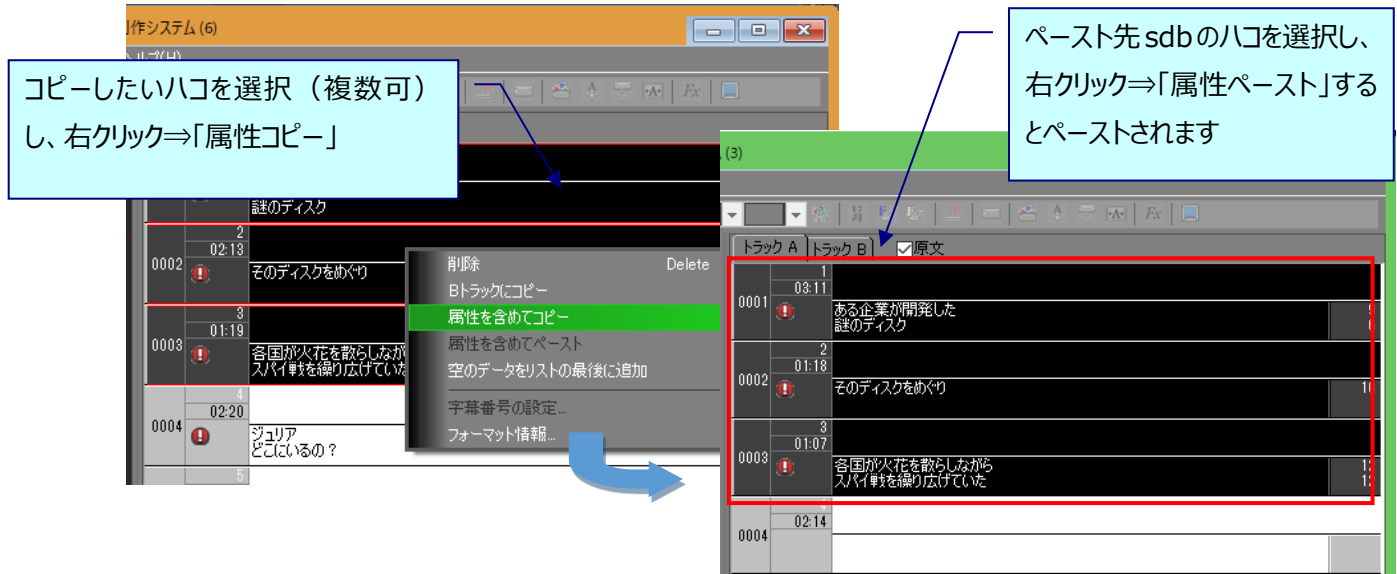
- 挿入または削除によるタイムコードの調整
- 現在位置より後ろの字幕を移動
- 現在選択されている字幕のインフレームを基準に字幕を移動

●異なる sdb 間での属性付のコピー＆ペースト

ー異なる sdb ファイル間で属性コピー＆ペーストが行えるようになりました。

波形もしくは字幕ウィンドウ上で右クリック⇒「属性を含めてコピー」を選択し、別の sdb ファイルの波形、もしくはスポッティングだけを取っている字幕ウィンドウ上で右クリック⇒「属性を含めてペースト」で、ペーストが行えます。

※属性=フォントの種類・色・ルビ・斜体・傍点などの字幕に付与するエフェクトのこと。



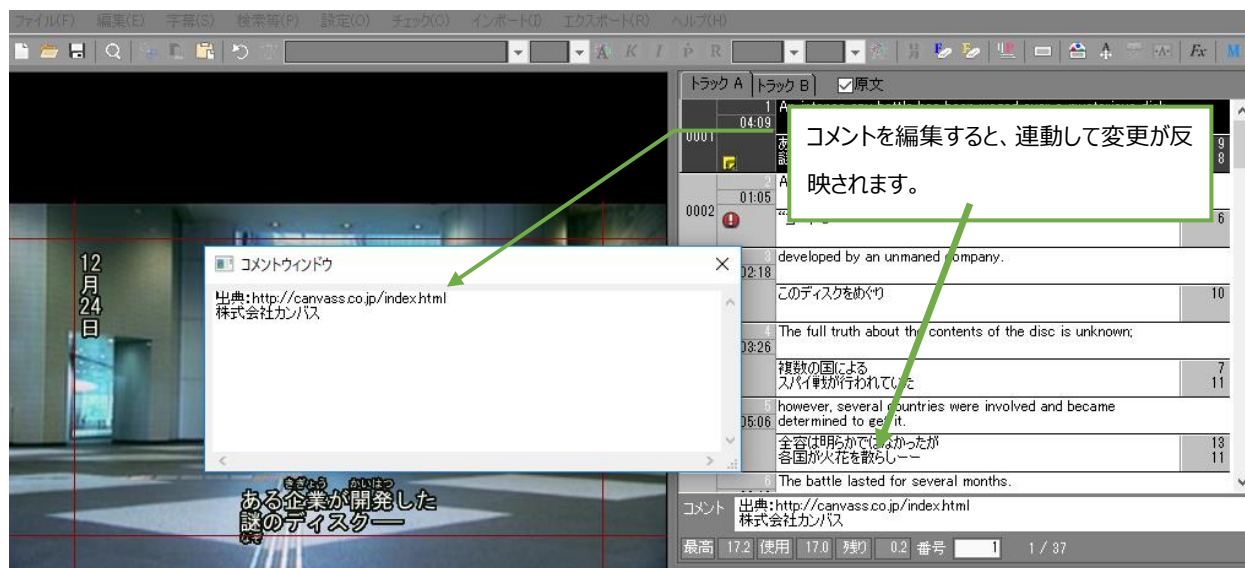
<注意点>

- ・ **デフォルトフォーマットで設定されている属性はコピーされません。** ペースト先のデフォルトフォーマットが反映されます。
- ・ 個別に設定したフォーマットは属性コピー&ペーストされ、ペースト先に反映されます。
- ・ フレームレートが異なる sdb 間で貼り付けを行うとタイムコードの数値が変わってしまいますので、フレームレートが同一の sdb 間で行うか、ペースト後調整を行うようにしてください。

●コメントウィンドウ

コメントを別ウィンドウで表示できるようになりました。

[設定]－[ユーザー設定]－[画面表示]タブの「コメント欄をウィンドウ表示する」にチェックを入れると、コメントウィンドウが別ウィンドウで開きます。



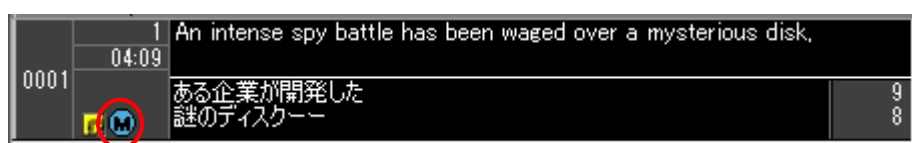
- ・ コメントウィンドウは常に最前面に表示されます。
- ・ コメントウィンドウは右上の「×」で閉じます。
- ・ コメントウィンドウを再度表示する場合は、ユーザー設定の「コメント欄をウィンドウ表示する」にチェックを入れてください。

●申し送りリスト

コメントウィンドウに申し送りを記入した字幕だけを選択し、「申し送りリスト」として Excel に出力できるようになりました。

申し送りリストに出力したい字幕を選択し、ツールバーの **M** ボタンを押すと字幕 BOX 上に

M マークがつきます。



この状態で[エクスポート]－[申し送りリスト]からファイル名を付けて保存すると、**M** マークがついた字幕のみが一覧として Excel ファイルに出力されます。エクスポートする項目は[詳細設定]タブにて選択可能です。

●sdb 検索

－検索結果の一覧にルビ列を追加しました。複数ルビがある場合は「／」で区切られて表示されます。

検索結果:								
プロジェクト	Track	Index	字幕No.	原文	字幕	コメント	ルビ	フォルダ
CodeS(MS).sdb	A	1	1	An intense spy ...	ある企業が開発...		きぎょう / かいはつ	D:\Desktop\sdb...
CodeS(MS).sdb	A	4	4	The full truth a...	複数の国企業に...		きぎょう	D:\Desktop\sdb...
CodeS_Aトラックの...	A	1	1	An intense spy ...	ある企業が開発...			D:\Desktop\sdb...
CodeS_Bトラックの...	B	5	5	He is an execut...	“この企業の重役...		きぎょう	D:\Desktop\sdb...
demo.sdb	A	1	1	An intense spy ...	ある企業が開発...			D:\Desktop\sdb...
demo.sdb	A	9	9	and finds the “ ...	隠し場所の企業...		きぎょう / せいこう	D:\Desktop\sdb...

●最終チェック

－チェック対象となる不正な改行コードを追加しました。

－「無効な文字コード」のチェック項目を追加しました。

チェックする項目	チェック内容	備考
無効な文字コード	Windows 上で表示されない特殊な文字コードが入っている字幕 修正方法は、全文削除し同一の字幕を入力する。コピー＆ペーストは不可。	

下記の文字がチェック対象となります。

U+FEFF	ゼロ幅のノーブレイクスペース
U+200B	ゼロ幅空白
U+200C	ゼロ幅非接合子
U+200D	ゼロ幅接合子
U+200E	記述方向制御(左から右へ)
U+200F	記述方向制御(右から左へ)
U+2028	行区切り文字
U+2029	段落区切り文字
U+202A	LEFT-TO-RIGHT EMBEDDING
U+202B	RIGHT-TO-LEFT EMBEDDING
U+202C	POP DIRECTIONAL FORMATTING
U+202D	LEFT-TO-RIGHT OVERRIDE
U+202E	RIGHT-TO-LEFT OVERRIDE
U+2061	関数適用
U+2062	不可視の乗算記号
U+2063	不可視の区切り文字
U+180E	MONGOLIAN VOWEL SEPARATOR

●Netflix 用データチェック

－ 「'!'と'?」に続く空白文字のサイズ」のチェック項目を追加しました。

画面表示内容	動作	チェック項目
'!'と'?」に続く空白文字のサイズ	警告	「!」「?」(全角半角共に)の後ろに半角スペースが存在している。全角スペースやそれ以外の任意の文字列の場合はチェック対象外。

- ・「?」「!」(全角半角共に)の後ろに半角スペースがある場合 → チェックで検出される。
- ・「?」「!」(全角半角共に)の後ろに全角スペース、もしくは任意の文字列がある場合 → チェックで検出されない。

※「!」「?」は全角でも半角でもチェック対象となりますが、その後に続くスペースが半角の場合のみチェックで検出されます。

※「!」「?」の後ろに半角スペースが2つ連続して存在する場合もチェックで検出されます。

※「!」「?」の後ろの半角スペースのみが検出対象ですので、例えばそのまま任意の文字が続く場合、チェックでは検出されません。

例／「なんで?と言っても」や「Hey!Say!JUMP」の場合の「?」や「!」は検出対象となりません。

下記の文字は本チェック項目の対象外です。

!?（文字コード 2049／半角の枠の中に「!」と「?」が入っている）

?!（文字コード 2048／半角の枠の中に「?」と「!」が入っている）

??（文字コード 2047／半角の枠の中に「?」と「?」が入っている）

!!（文字コード 203C／半角の枠の中に「!」と「!」が入っている）

●英語 OS のサポート（動作保証環境）

－これまで日本語版 Windows OS のみサポートしていましたが、本バージョンから英語版 Windows OS もサポート対象となりました。

3) 機能修正

●映像再生

－新再生モードにおいて、特定の WMV ファイルで動作を停止してしまう問題を修正しました。

※新再生モードでの WMV 再生は、現状 1～2 フレーム、映像に対して音声が遅れる不具合が発生しているため、対応を謳っておりません。

※特定の WMV ファイルについては、再生開始時にノイズが走ることがあります。

●字幕番号の振り直し

－ルビが存在する特定の sdb ファイルにおいて、字幕番号の振り直しの操作を行うとフリーズしてしまう問題を修正しました。

●字幕ウィンドウ

－字幕ウィンドウ上で、一つのハコがアクティブ状態のときに何かキーを押すと先頭のハコにジャンプしてしまう問題を修正しました。

●波形ウィンドウ

－Shift+→キーでスポッティングを行っている際に、キーを離してもカーソルが止まらなくなってしまうことがあるという問題に対し、キーを離した際の挙動を調整しました。

[ユーザー設定]－[再生]タブの「→キーの解放による再生の停止を強化する」にチェックを入れると調整が有効になります。

本件は映像系ソフトのバグティング、PC のメモリ不足等による PC 固有の問題です。この修正は根本的に症状の発生を抑止するものではありませんが、症状が発生しても一定の時間で停止させるよう改善しました。

今後も症状が出た場合の情報を収集し、引き続き改良をしてまいります。

－字幕を複数選択し、ツールバーの表示位置・行配置から変更できるようになりました。

波形データ上で Alt or Shift を押しながら字幕を複数選択、もしくは字幕ウィンドウ上で Ctrl or Shift を押しながら字幕を複数選択した際に、従来のバージョンはツールバーの （表示位置・行配置）ボタンが押せませんでした。本バージョンより押せるようになりました。これにより字幕を複数選択しツールバーの表示位置・行配置から字幕の位置を設定できるようになりました。

すでに個別に表示位置・行配置を変更している字幕が複数選択された場合、最後に行った設定が反映されますのでご注意ください。

●最終チェック

－チェック時に、原文の表示が消えてしまうことがある問題を修正しました。

－特定の状況において、原文の文字色がチェックエフェクトの文字色に変わってしまう問題を修正しました。

●字幕移動

字幕移動（現在位置より後ろの字幕を移動）の機能を修正しました。

[字幕]－[字幕移動]で「現在位置より後ろの字幕を移動」を選択して字幕移動を行う際、これまでは現在位置（＝波形上のカーソル）をそのスポッティングの in 点に置かなければ字幕移動ができませんでしたが、本修正により、選択したスポッティング内のどの位置にカーソルを置いても字幕移動が可能となりました。

●ピッチ調整

－ピッチ調整を行うと「引数が正しくありません」とエラーが出てしまうことがある問題を修正しました。

－英語環境において、ピッチ調整の警告メッセージが英語で表示されなかった問題を修正しました。

●ファイルの保存

－ファイル名に特殊な文字（※）が含まれていた場合、保存できない、上書きできない問題を修正しました。

※「㊦」などの機種依存文字、ハングル文字、中国語文字（繁体字・簡体字）、フランス語・イタリア語・ドイツ語などの通常アルファベット以外の文字（è、ç、à、ä など）

※sdb ファイルが格納されているフォルダ名に特殊な文字が入っている場合、ダブルクリックでは開けません。これは Windows の仕様です。

●自由位置

－自由位置を設定する際に、字幕をクリックし緑色のカーソルを表示させた後にマウスではなくキーボードの→(または←)で右方向(左方向)に水平に動かそうとすると、最初の1回のみ垂直方向に動いてしまう問題を修正しました。

●ユーザー設定

ーユーザー設定画面を小さくしました。これにより、画面解像度が低いノートパソコン等で OK ボタンがクリックできない問題を解消しました。

●その他

ー特定の状況において、先頭の字幕のエフェクトが消えてしまうことがある問題を修正しました。

ーデフォルトフォーマット以外のフォントに変更した文字に対してルビをつけた際、ルビのフォントがデフォルトフォーマットのルビと同じフォントに設定できない問題を修正しました。

ーMP4 の映像ファイルをドラッグ&ドロップで開けるようになりました。

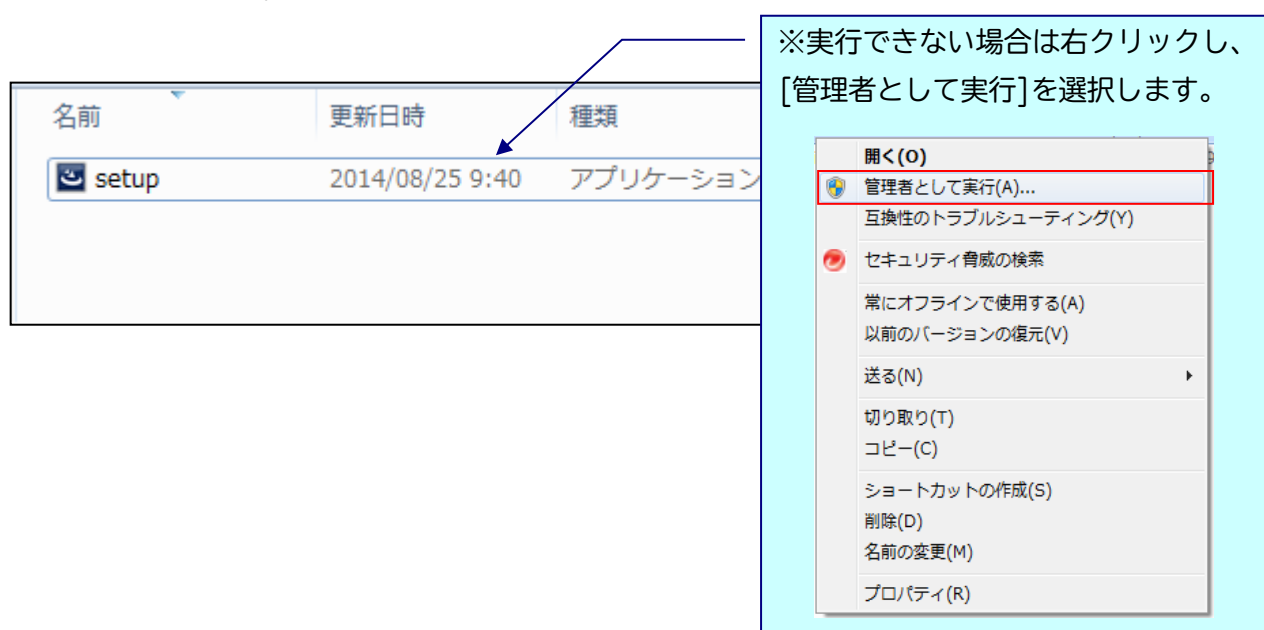
プロジェクトを開いた状態で、MP4 の映像ファイルをプロジェクト上にドラッグ&ドロップすると映像が開けるようになりました。

なお、mpeg1・wmv・mov の映像ファイルは従来のバージョンからドラッグ&ドロップで開けます。

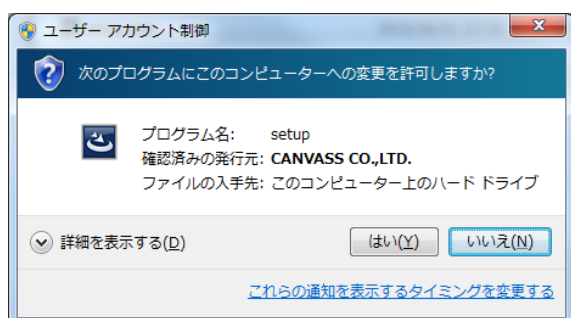
4) アップデート手順

 アップデートする時は、dongleをさし込まないでください！

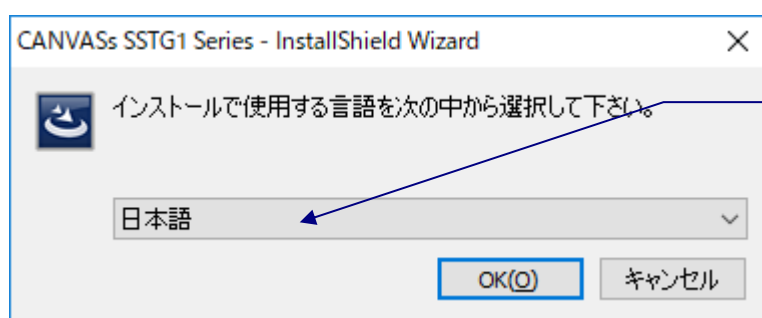
ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、01_[ソフト名]フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



※この時、「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。

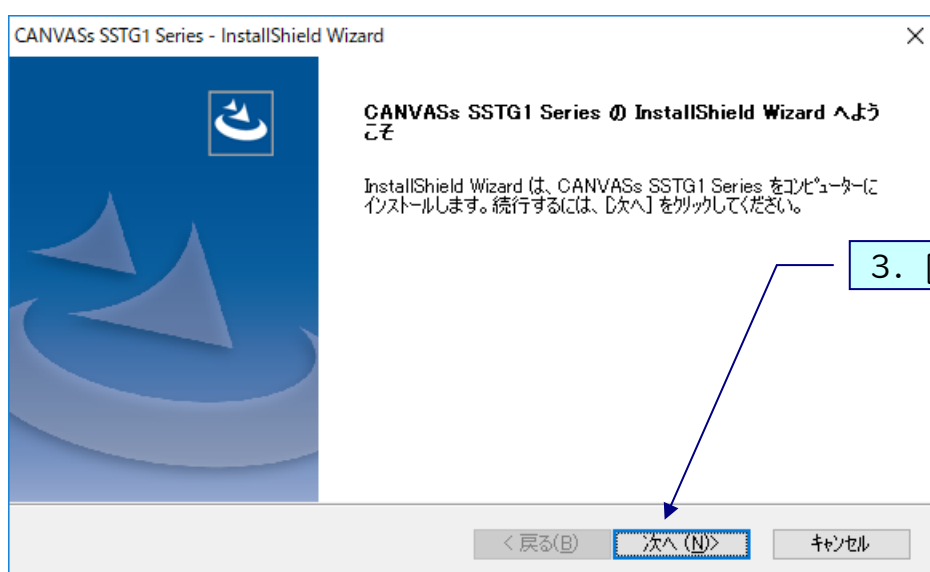


※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。
操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。

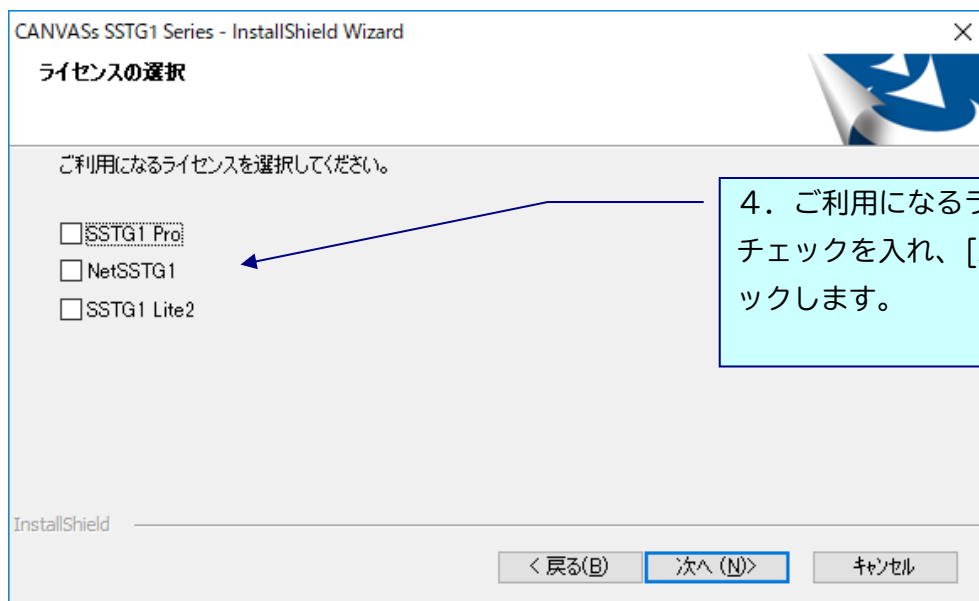


2. プルダウンから言語を選択し、[OK]をクリックします。

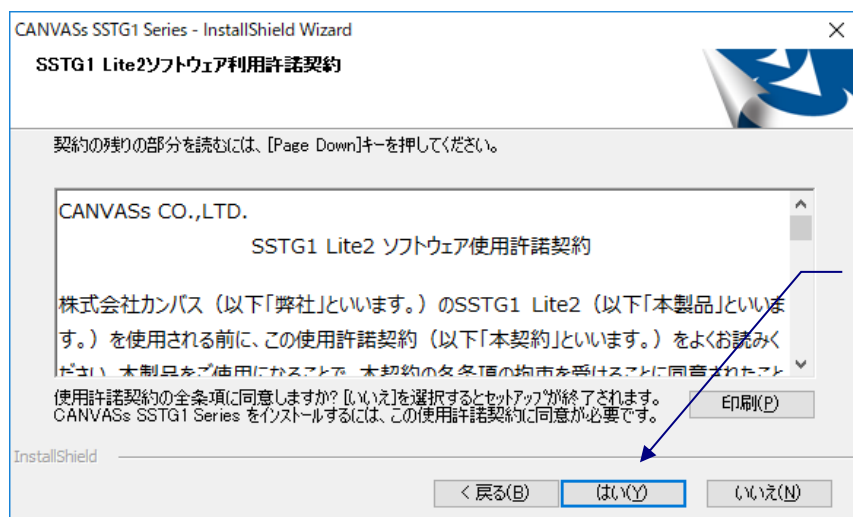
※以下は「日本語」を選択した場合の画面ですが、内容は英語の場合も同様です。



3. [次へ]をクリックします。

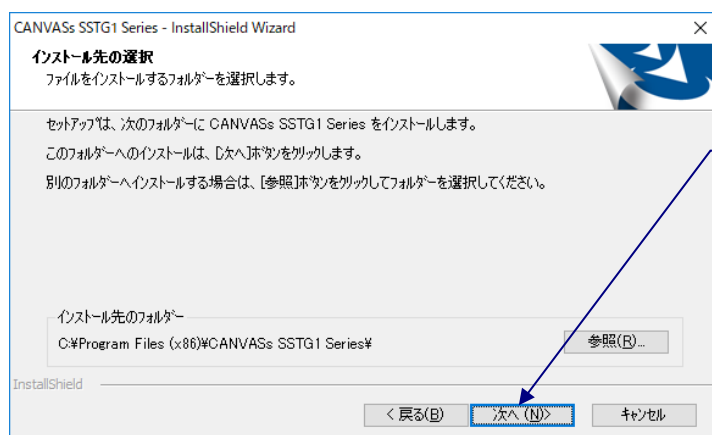


4. ご利用になるライセンスにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



5. [利用許諾契約]の内容をご確認いただき、[はい]をクリックします。

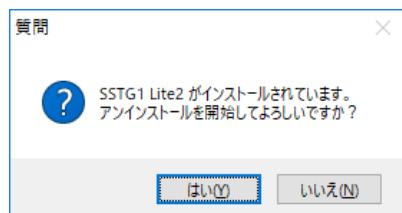
! 4で複数ライセンス選択していた場合、各ライセンスの利用許諾契約が表示されます。



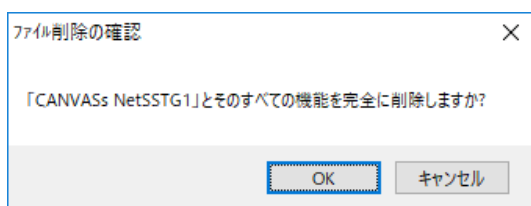
6. [次へ]をクリックします。

アップデートの場合

下記のメッセージが出ますので[はい]をクリックし、アンインストールを実行してください。
※フォーマット情報、ショートカットキー設定などは消去されません。

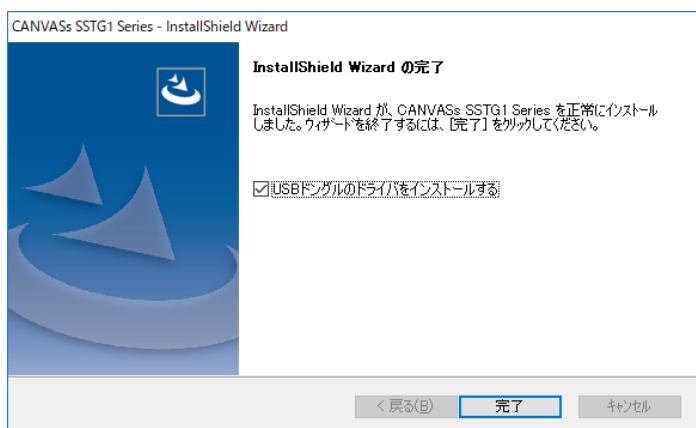


[はい]をクリック



[OK]をクリック

SSTG1Series のインストールがすべて完了すると、下記画面が表示されます。



「USB ドングルのドライバをインストールする」のチェックを外し、[完了]をクリックしてインストールを終了してください。

インストール終了後は、必ず PC を再起動してください。

■本バージョンから、プログラムの名前が一部で「SSTG1 Series」と表示されます。
従来はコントロールパネルの「プログラム」（Windows10 の場合「アプリと機能」）を開くとソフト名が「CANVASs SSTG1 Lite2」と表示されていましたが、本バージョンより「CANVASs SSTG1 Series」と表示されます。ソフトをアンインストールする際は、「CANVASs SSTG1 Series」を選択してください。

また、[ヘルプ]－[バージョン情報]に表示されるプログラム名も「CANVASs SSTG1 Series」となりました。お問い合わせの際は、こちらのプログラム名とバージョン情報をお知らせください。

5) ドングル更新手順

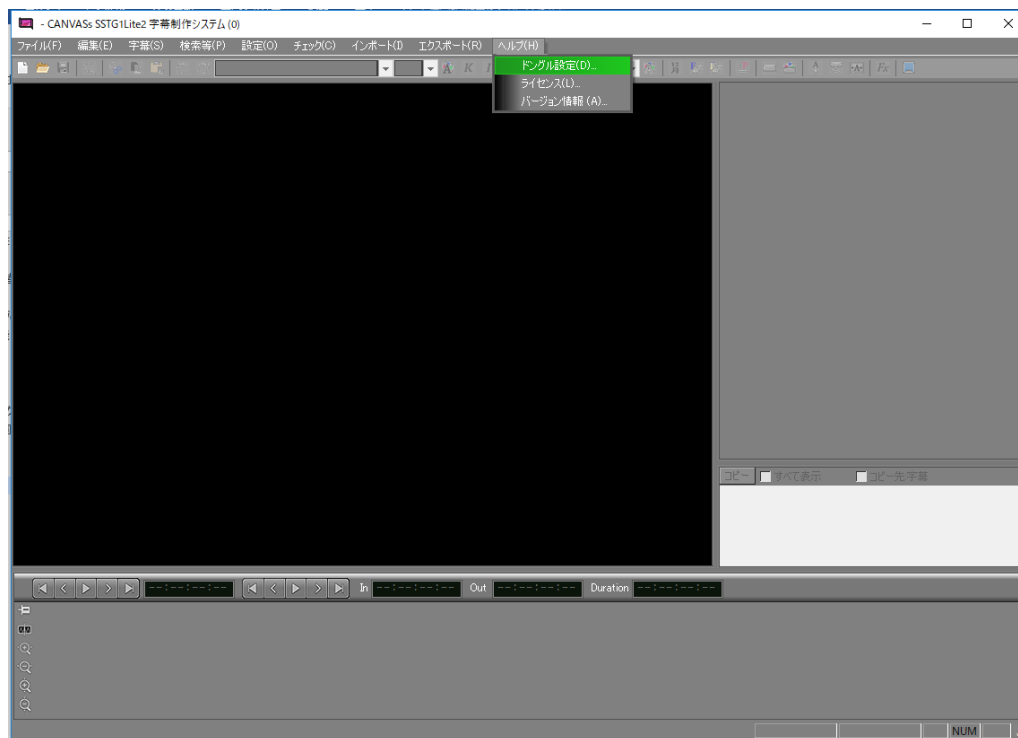
***本手順は Ver1.1.1 をご利用のユーザー様のみ行ってください。**

***更新するドングルを挿してください。**

①ソフトをダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないで下さい。

②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。

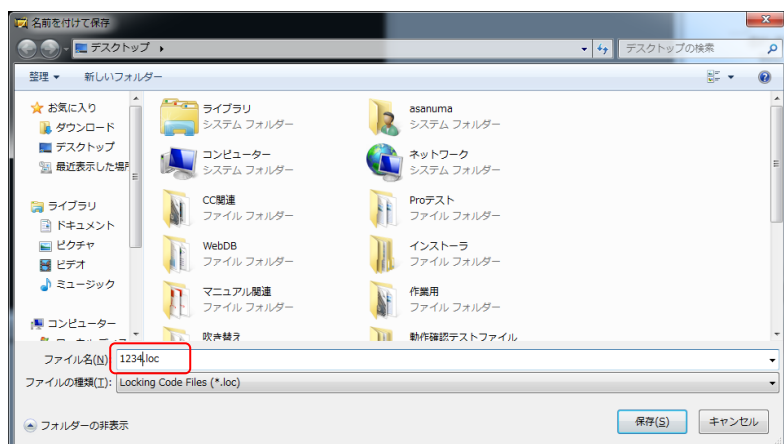


③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。

- ⑤ ドングル番号（ i + 数字またはアルファベット混合の4桁の番号）をファイル名として入力し、保存先を指定してください。



※ファイル名にあらかじめ「*.loc」が入っている場合は削除して、名前を付け直してください。

- ⑥ ロッキングコードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



- ⑦ 保存先に、.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

メールアドレス sales@canvass.co.jp



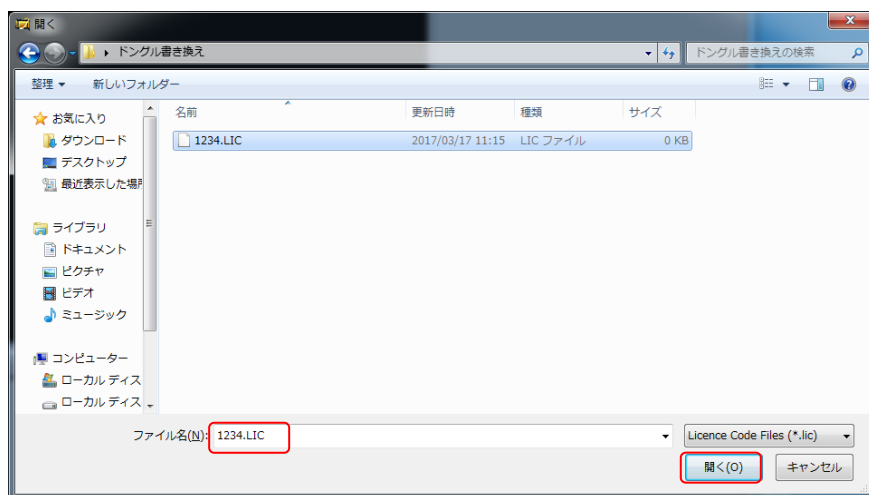
- ⑧ 株式会社カンバスから、.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



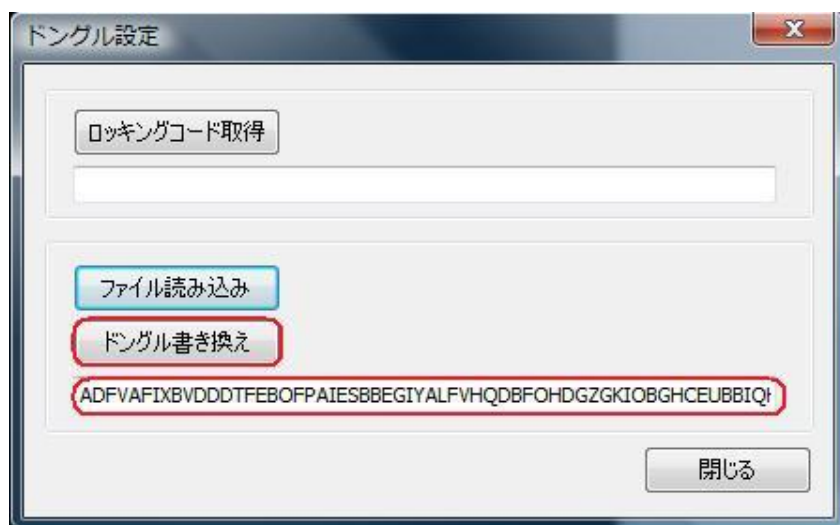
⑨②を参考に、[dongle 設定] のダイアログを表示し、[ファイル読み込み] をクリックします。



⑩. lic ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



⑪ライセンスコードが入っていることを確認して、[dongle 書き換え] をクリックします。



⑫ dongle の書き換えが完了しました。

【ご注意ください！】

更新済み dongle では Ver1.1.1 はご利用いただけません。

複数のパソコンでご利用されている場合、dongle 更新が完了しましたら、すべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を最新バージョンにアップデートしていただくようお願いいたします。

以上